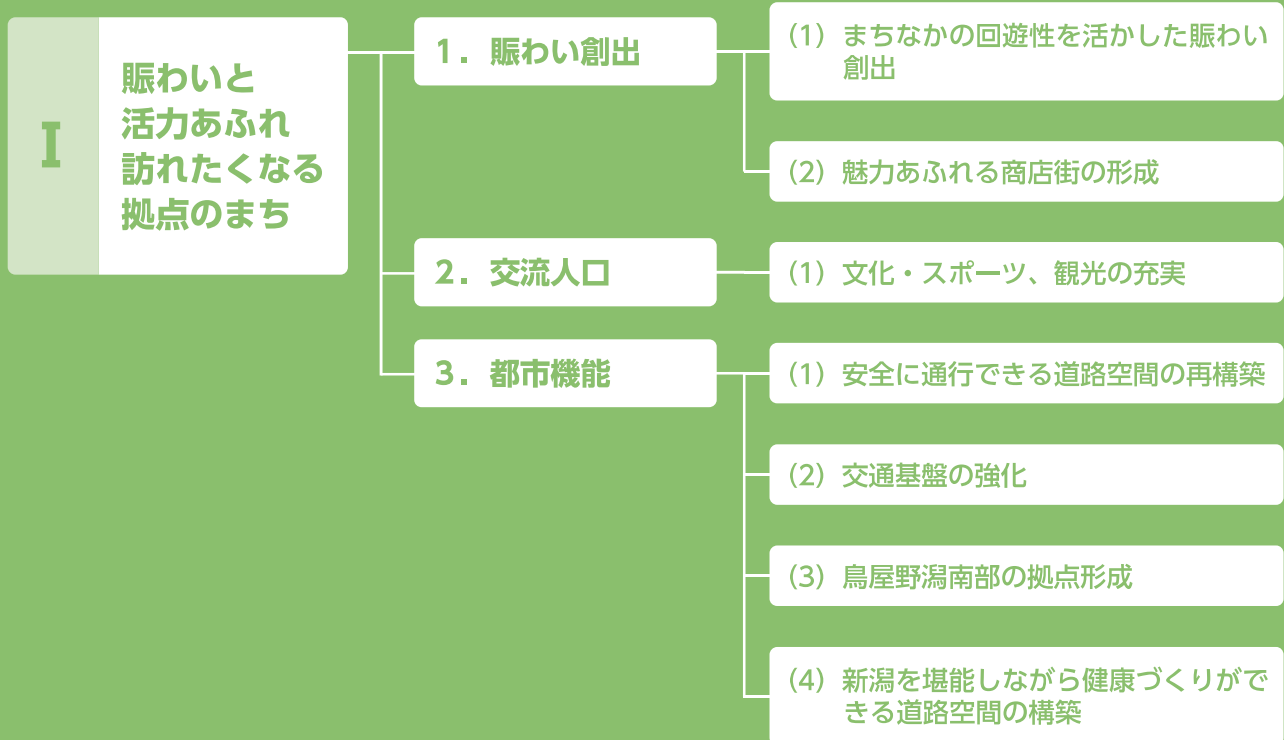


I

賑わいと活力あふれ 訪れたいくなる拠点のまち



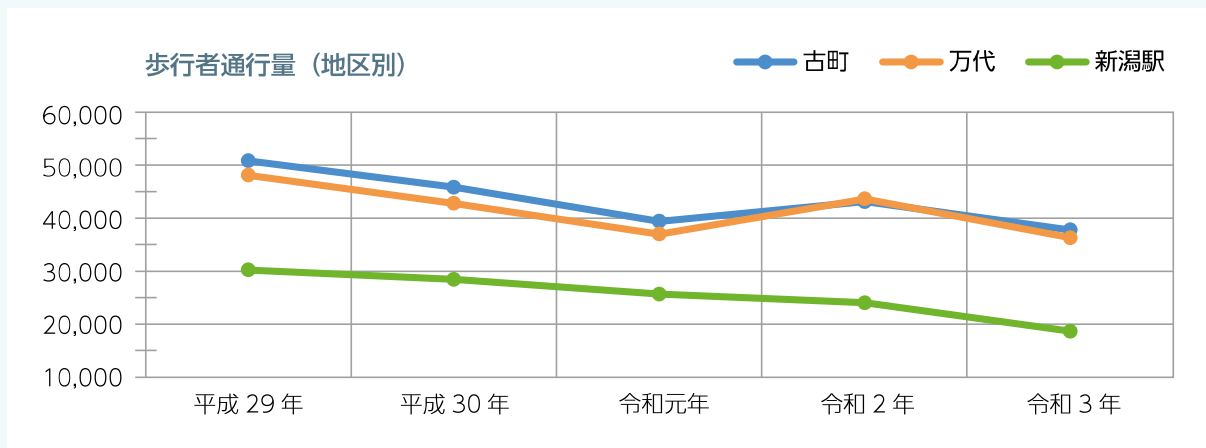
まちづくり計画体系図（再掲）



1 賑わい創出

現状／特性と課題

- 江戸時代の町割りに始まる街区やみなとまちの風情を残す建造物などが多く残っている地区、大規模な商業施設が集積し、公共交通ターミナルの機能を持つ地区、また新潟駅連続立体交差事業に伴う整備が進む地区などがあり、多くの人々の往来が盛んです。引き続き、利便性、回遊性の向上を図り、まちなか*の賑わいを創出する取組が必要になります。
- 中央区は、新潟市の経済をけん引する役割を担っていますが、その中核となる区内の商店街において歩行者通行量が減少するとともに、空き店舗が多く見られるため、地域の魅力を活かした空き店舗活用や賑わいを創出する取組を支援するなど、商店街の実情に合わせた支援や生産性の向上を推進していくことが必要です。



新潟市商店街連盟「商店街歩行者通行量調査」を基に新潟市で作成

- 中心市街地における公共施設や文化施設などで来訪者や外国人定住者などに向けた情報提供の重要性が増しています。

まちづくりの方針

(1) まちなかの回遊性を活かした賑わい創出

- 既存公共交通の活用や改善に取り組み、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネス等で訪れる人にとって快適でわかりやすい利用環境の充実や、多様な手段による回遊性の向上を図り、賑わいや活力の創出に努めます。
- 新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ「にいがた2km*」において、高次都市機能の集積や魅力の創出、賑わいづくりを市民とともに取り組むことで、「緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア」を創造し、8区のネットワーク強化を図りながら、新潟市経済・産業の発展をけん引する成長エンジンとしていく取組を推進します。

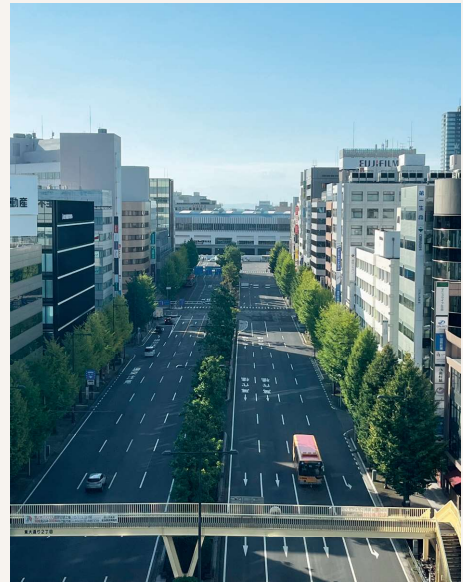


新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ「にいがた2km」

- 萬代橋周辺の道路や河川などの公共空間の活用や、都市開発事業を通じて、まちなかで楽しめる空間をつくるとともに、信濃川の自然や水辺を活かした景観づくりや環境整備など、官民連携による地域の賑わい創出と活性化に向けた施策を展開し、萬代橋周辺ならではの魅力的なまちなか空間の形成を目指します。
- 「古町」「西大畑」「しもまち」各地区は、みなとまち新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産の保全や活用、新潟駅周辺・万代・万代島・古町をつなぐ都心軸では、日本海拠点都市の風格を感じる都市空間の形成、万代シティでは賑わいの創出など、まちなかや隣接する各地区特性を活かし、魅力や価値を高め、後世に継承できるよう関係者と連携しながら良好な景観の形成に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。
- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に努めます。
- 来訪者や外国人定住者などの利便性の向上や中央区の魅力のアピールのために、中心市街地における公共施設や文化施設におけるサインの活用など誰にでもわかりやすい情報提供に努めます。



萬代橋と信濃川やすらぎ堤



東大通と新潟駅



案内サイン

(2) 魅力あふれる商店街の形成

- 商店街の新たなイメージづくりに向けた取組を支援し、多くの人が行ってみたくなる、歩いてみたくなるまちを目指します。
- 商店街が、住む人、働く人、学ぶ人、そして観光やビジネス等で訪れる人が求める多様なニーズに応え、住民の暮らしや利用する人を支える視点を持った場として持続、発展できるよう、地域の要望を踏まえた支援に努めます。

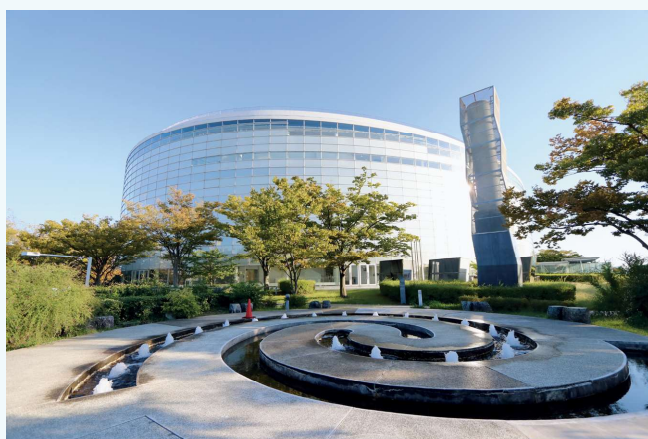


万代シテイ

2 交流人口

現状／特性と課題

- 新潟市は大規模な国際会議や学会、展示会などが開催される都市であり、その多くが開催される中央区には国内外から多くの参加者が訪れ、滞在します。外国人を含めた来訪者が心地よく催しに参加でき、滞在を楽しめる環境整備と、おもてなしの雰囲気づくりが必要です。
- 中央区は、信濃川や鳥屋野潟、日本海などの豊かな自然環境に恵まれているほか、新潟スタジアム（ビッグスワン）や朱鷺メッセ、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）、新潟市アイスアリーナ、新潟市水族館（マリンピア日本海）など、県や市を代表する文化・スポーツ・観光施設があり、市内外から多くの人々が集い、賑わっています。今後、イベント内容の充実、施設間の連携、市内外へのPRなどにより、さらなる交流人口*の拡大を図ることが必要です。
- 県内有数の水産物の水揚げ基地であるとともに新潟港の賑わい・交流の中心となっている万代島地区において、賑わい創出と活性化に向けた取組が必要です。

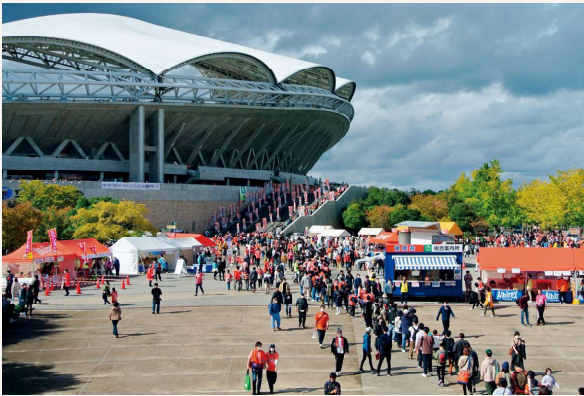


新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）

まちづくりの方針

(1) 文化・スポーツ、観光の充実

- 江戸時代から続く町割りや花街（かがい）、歴史的な建造物など中央区の魅力を区民や市内外の観光客にまち歩きを通して伝えとともに、信濃川をめぐる水上シャトル便など中央区の魅力的な資源を活用した観光客の誘致を図り交流人口の増加を目指します。
- 中央区の文化・スポーツ資源を区民が利用しやすいような環境整備に努めるとともに、市街地に隣接してひろがる豊かな自然環境などの特色ある観光資源も活用しながら、大規模な文化・スポーツイベントなどを誘致することのできるまちを目指します。



ビッグスワン



マリニピア日本海

- 万代島地区について、関係者と連携しながら、アクセス機能の強化をはじめとして賑わい創出を目指した取組を検討していきます。
- 万代地区の「新潟市マンガ・アニメ情報館」や古町地区の「新潟市マンガの家」を中心に「マンガ・アニメ」で賑わうまちを目指して、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携した関連事業の内容の一層の充実に努めるなど、文化の継承・発展、文化産業の発展と交流人口の増加を目指します。



「マンガ・アニメのまちにいがた」サポートキャラクター
花野古町 & 笹団五郎

3 都市機能

現状／特性と課題

- まちなかでは、歩行者と自転車のいずれの通行量も多く歩行者の安全を第一として、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間の再構築が必要です。
- まちなかの歩道では、路上駐輪により歩行者の通行の支障になっているところもあり、駐輪場の確保や、駐輪マナーの向上が課題となっています。
- 美しいまちなみを形成し、都市景観の向上を図るとともに、ユニバーサルデザイン*に基づく歩行空間の整備が必要です。
- 新潟駅周辺地区においては、鉄道によって市街地が南北に分断され、鉄道を横断する交通の混雑などの問題があります。都市機能強化に向け、立体交差道路や新潟駅新万代広場などの供用に向けた新潟駅周辺整備の着実な推進が重要となっています。
- 市内中心部及び中心部と郊外を結ぶ、多くの路線バスが運行されています。新潟駅直下バスターミナルの整備により、南北市街地がつながることから、バス路線も大きな転換期を迎えます。地域ニーズに応じた生活交通の確保に向けた検討を行うとともに、中央区の各地域において、誰もが公共交通などで移動しやすい環境の整備に努める必要があります。
- 豊かな自然を残す鳥屋野潟や高速交通網の結節点に隣接する鳥屋野潟南部地区約270ヘクタールにおいて、優れたアメニティ空間の創出や新しい都市機能、民間活力の導入による開発推進が必要です。
- 健康づくりやレジャーに最適な歩行者、自転車の専用コースが整備されましたが、利用者からコースが分かりづらく歩行者と自転車が錯綜し危険などの改善要望や指摘があることから、これを解決するとともに、更なる価値を増していく必要があります。



工事が進む新潟駅新万代広場

まちづくりの方針

(1) 安全に通行できる道路空間の再構築

- ユニバーサルデザインの考えに基づいた整備を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。
- まちなかにおいて、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間の整備・活用や駐輪場の確保など、人中心のウォークブルな空間*形成に努めます。



人中心の空間づくり



自転車通行帯

(2) 交通基盤の強化

- 新潟駅周辺地区の整備を進めるとともに立体交差道路など主要道路の整備を進め、道路ネットワークの強化を図ります。
- 誰もが、自動車へ過度な依存をせずとも、それぞれのライフスタイルや状況に合わせて自転車や公共交通機関などの多様な手段を組み合わせる移動しやすい環境の実現と持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた検討に取り組みます。また、公共交通の利用促進とまちなかの活性化に向けて、デジタル技術を活用した情報の提供と情報連携の充実、モビリティ・マネジメント*による意識啓発に取り組みます。



市内を走るバスとシェアサイクル

(3) 鳥屋野潟南部の拠点形成

- 鳥屋野潟南部地区における住居・交流拡大ゾーンの開発促進に向けたスムーズな手続・調整を行うなど、複合拠点としての整備を支援します。

(4) 新潟を堪能しながら健康づくりができる道路空間の構築

- ぐるりん新潟島（新潟島一周自転車道）の利便性・安全性の向上を継続して図るとともに、区民をはじめ、市内外の方々がシェアサイクルなどを利用して気持ち良く街に出かけ、新潟を堪能して気軽に健康づくりができる環境整備に努めます。



ぐるりん新潟島



距離標（例）

